

平成30年度第2回学校運営協議会議事録

平成30年11月20日校長室

(順不同敬称略)

(出席者) 大阪学院大学：吉川 大阪狭山市公民館：小松 大阪狭山市立南中学校校長：中田
保護者代表：打越 立志館ゼミナール小中学部館長：染川 国際交流センター：豊岡
校長 教頭 事務長 首席：池田、大西 人権教育委員長：森
総務部長：大西 保健部長：村田 生徒会部長：船坂 教務部長：船引 1年学年主任：横田
司会事務局長（教頭）

[会長挨拶]

(吉川)

・中学生の志望校調査など気になることがある。中学生にどう評価されているか知りたい。

[校長挨拶]

新1年の新テスト対応として、校内模試や外部模試など模試の回数を増やす。授業力向上に努め8耐や長期休業の講習などに努める。

生徒の進学については第一志望の学校に合格するように指導し、進路満足度を高めたい。

国際交流では夏休みにオーストラリアの姉妹校キャリー校での語学研修に生徒24人が参加し、また韓国景福高校から10人来校し交流を図った。10月にはキャリー校からも10人来校し交流を図った。

地域交流では、さやま池祭やクリーンアクションなど今年も継続して行った。

働き方改革としてノークラブデーや定時退庁日・夏休みの休業日を設定した。

[校内研修]

(村田)

11月に授業研修としてお互いに授業を見学し合って意識を高めるということを行っている。経験の浅い先生と経験の豊かな先生の交流も図っている。3学期には座談会を行う予定。

(森)

8月に教職員向けの人権研修を行った。スクールカウンセラーに参加いただき、個々の事例を上げて3つの班で

ディスカッションした。

PTA向け子どもの貧困問題についての講話を行った。

[学校情報]

(池田)

9月末から2年生が修学旅行で北海道に3泊4日で行ってきた。

出発前に北海道に地震があったが混乱なく予定どおり実施できた。

(船坂)

文化祭は雨のため来校者が昨年の3分の2になった。外部からみて狭山高校の行事はどう感じているか意見を聞

きたい。

(教頭)

先日の放課後に起きた地震では部活動中のクラブ員や講習を受けていた生徒全員がグラウンドに避難した。台風

の影響で校内にあるポプラの木が7本倒れた。

(大西)

1回目の学校説明会は中学生378名(去年は326名)で行った。

[質疑応答]

(豊岡) 働き方改革で勤務時間外は月平均3時間減ったことは凄い。働き方の目安を決めてはどうか。

ブロック塀をフェンスに変えるのが3年後というのは遅い。目視だけでなくすぐに壊れないという確証が得る調

査が必要。

(吉川) 授業研修はよい取組。若手の先生が教育実習で学べないことも学べる。

(小松) 文化祭に地域の人が入れることを知らなかった。

(染川) 文化祭の招待券がないのは小学生にはマイナス。あえて招待券を配った方が、もらった小学生にとっては行こうという気になる。そこで楽しい文化祭だったと感ずることが出来れば狭山高校に行こうとなる。中学生からでは文化祭は志望校選びの判断材料にならない。

(中田) 学校説明会では空気感、雰囲気を感じてもらう場である。説明の内容よりも空気感が大事。在校生の明

るい感じが大事。制服変更したことで狭山の人気は上がった。

(吉川) 学校説明会で在校生と接触させた方がよい。校舎案内を在校生にさせるなど。

(教頭)・時間が参りました。本日は貴重なご意見ありがとうございました。